第 17 講　【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗

PART4 中国の分割と日露戦争

Chapter 1　中国分割の状況

目標　ロシアと日本は中国のどの地域を勢力圏にしたのかをおさえよう。
戊戌の変法の結末を理解しよう。

1　中国の分割

①中国の衰退

1895 年　日清戦争の下関条約で賠償金を支払い，開港場での企業設立が約される
→財政難に陥った清に列強が**借款**を提供，見返りとして**租借地**を要求
鉄道敷設権や鉱山開発権などを獲得し，その地域を勢力範囲とする

②列強の中国分割

A　ドイツ…山東半島が勢力圏
1898 年　山東半島の〔　　　　　　〕を租借，**青島**に海軍基地を建設

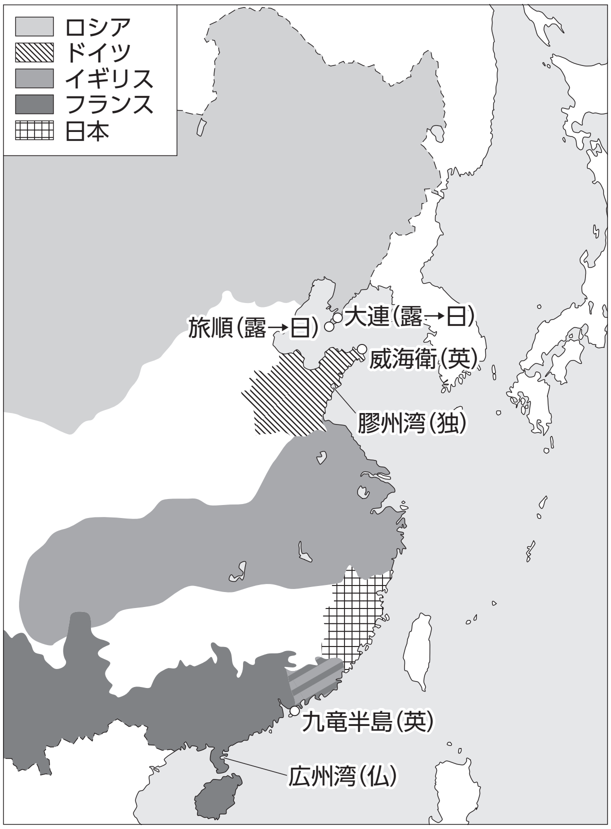
B　ロシア…満洲地方を中心に中国北部が勢力圏
1896 年　清から〔　　　　　　　　〕の敷設権を獲得
1898 年　遼東半島南部の**旅順**と〔　　　　〕を租借

C　イギリス…長江流域が勢力圏
1898 年　山東半島の港〔　　　　　　〕と香港島対岸の
〔　　　　　　　　〕（新界）を租借

D　フランス…広東省など中国南部が勢力圏
1899 年　〔　　　　　　〕を租借

E　日本…福建省が勢力圏
1895 年　下関条約で**台湾**を獲得

F　アメリカ
国務長官**ジョン＝ヘイ**が 1899 年と 1900 年に
〔　　　　　　　　　　　〕を発し，中国の門戸開放，機会均等，領土保全を提唱



列強による中国分割

2 清末期の改革運動

1898年　公羊学派の〔　　　　　　〕や〔　　　　　　〕らが**光緒帝**に登用され,

〔　　　　　　　　　〕(変法運動)を進める

※日本の明治維新をモデルとして立憲君主政の樹立を目指し,科挙や行政制度の改革,学校制度の創設などを行う。

1898年　〔　　　　　　〕ら保守派による**戊戌の政変**がおこり,改革は短期間で終結

※光緒帝が幽閉され,康有為,梁啓超らは日本へ亡命。

※戊戌の変法は,百日維新と呼ばれる。

まとめ

ロシアは遼東半島を租借すると満洲地方を,日本は台湾の割譲を受けると福建省を勢力圏とした。

康有為らの戊戌の変法に対して,西太后ら保守派が戊戌の政変で改革派を弾圧し,光緒帝が幽閉された。

Chapter 2　日露戦争とその影響

目標　清の西太后が義和団事件に対してどのように対応したのかを学ぼう。
日露戦争がアジア各地に及ぼした影響について理解しよう。

1　義和団事件

19 世紀後半　反キリスト教運動〔　　　　　　　　　〕がおこる

※キリスト教の布教が公認されて以降，民衆の間で紛争が頻発

1899 年　山東省で結成された宗教結社〔　　　　　　　〕が蜂起

※「〔　　　　　　　　　〕」を掲げて，教会，鉄道の破壊，外交官の殺害を行う。

1900 年　**西太后**ら保守派が**義和団**を支持して，**列強に宣戦布告**

1900 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

※日本・ロシア・イギリス・アメリカ・フランス・ドイツ・オーストリア・イタリアの８か国連合軍が清軍と義和団を破り，北京を占領（**義和団戦争**）。

1901 年　〔　　　　　　　　　　　　　〕（辛丑和約）を締結

※（1）賠償金４億 5000 万両の支払い，（2）外国軍隊の**北京駐兵権**。

→中国の半植民地化が確定

2　日露戦争

①韓国の権益を巡る日露の対立

義和団事件以降もロシアが満洲に駐兵を続け，大韓（朝鮮半島）に介入

1902 年　日本が，ロシアと対立していたイギリスと〔　　　　　　　　　〕を結ぶ

1904 年　日本がロシアと開戦，〔　　　　　　　　　〕がおこる

1905 年　日本は日本海海戦や奉天会戦で勝利

※ロシアは，血の日曜日事件以降の第一次ロシア革命で戦争の続行を断念

1905 年　アメリカ大統領**セオドア＝ローズヴェルト**の仲介で，講和条約
〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

※日本は（1）**韓国の指導権**，（2）遼東半島南部（**旅順**，**大連**）の租借権と東清鉄道南部の利権，（3）**樺太（サハリン）**南部の領有権などを獲得，（4）〔　　　　　　　　　　　〕の経営権などを獲得。

→賠償金は得られず，日比谷焼き打ち事件が発生

②日露戦争の影響

A　日本はアジアの大国として台頭

→アメリカの南満洲鉄道共同経営権を拒否，日米関係が悪化

B　日露協約で東アジアの現状維持を確認，ロシアは再びバルカン方面への進出を図る

C　欧米列強の植民地だったアジアで民族運動が活発化

あ　ベトナム…1905 年，日本に留学生を派遣する

ドンズー（東遊）運動

い　中国…1905 年，**孫文**らが東京で〔　　　　　　　　〕を結成

う　イラン…1905 年，イラン立憲革命がおこる

え　インド…1906 年，インド国民会議カルカッタ大会を開催

お　オスマン帝国…1908 年，青年トルコ革命がおこる

日本のポーツマス条約による獲得地

まとめ

義和団が「扶清滅洋」のスローガンをたてると，これに乗じた西太后は列強に宣戦した。

日露戦争での日本の勝利を受け，インドやオスマン帝国など，アジア各地で民族運動が激化した。

第17講 PART 4 確認問題

1 1896年に清がロシアに敷設権を与えた鉄道はどれか。

① シベリア鉄道　② 東清鉄道
③ 南満洲鉄道　④ 川漢鉄道

2 1899年にフランスが清から租借した地はどこか。

① 広州湾　② 旅順・大連
③ 威海衛　④ 膠州湾

3 1899年，1900年に門戸開放宣言を発表して，中国の門戸開放，機会均等，領土保全の3原則を提唱した人物はだれか。

① ビスマルク　② マッキンリー
③ セオドア＝ローズヴェルト　④ ジョン＝ヘイ

4 清朝末期，康有為らが日本の明治維新をモデルとして行った政治改革はどれか。

① 洋務運動　② タンジマート
③ 戊戌の変法　④ 新法

5 清朝末期の19世紀末，「扶清滅洋」を掲げて蜂起した宗教結社はどれか。

① 白蓮教　② 東学
③ 義和団　④ 上帝会

6 1900 年，列強に宣戦布告した清に対して 8 か国連合軍が共同出兵し，北京を占領した出来事はどれか。

① 靖康の変　② 義和団戦争
③ 壬午軍乱　④ 甲申事変

7 1905 年にアメリカの仲介で結ばれた，日露戦争の講和条約を何というか。

① パリ条約　② 下関条約
③ イリ条約　④ ポーツマス条約

8 20 世紀初頭，東京で中国同盟会を結成して革命運動を指導した人物はだれか。

① 孫文　② 袁世凱
③ 曽国藩　④ 李鴻章

第 17 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　三国干渉後の 1896 年に清はロシアに**東清鉄道**の敷設権を与えた。

2 解答：①　中国南部を勢力圏としたフランスは，1899 年に**広州湾**を租借した。

3 解答：④　アメリカの国務長官**ジョン＝ヘイ**は，1899 年と 1900 年に列強に対して中国の門戸開放・機会均等・領土保全を提唱した。

4 解答：③　康有為らは 1898 年に光緒帝に登用されて，**戊戌の変法**をはじめた。

5 解答：③　**義和団**は「扶清滅洋」を掲げて蜂起し，教会や鉄道など「洋」に関係するものを破壊した。

6 解答：②　義和団を支持して清が列強に宣戦布告すると，日本，ロシアなど 8 か国が共同出兵して北京を占領し，義和団を鎮圧した。これを**義和団戦争**という。

7 解答：④　1905 年，セオドア＝ローズヴェルト大統領の仲介で，アメリカのポーツマスで日露戦争の講和条約が結ばれた。これを**ポーツマス条約**という。

8 解答：①　中国の革命家**孫文**は，1905 年に東京で中国同盟会を結成した。